

今月の
トピックス

JCOG2313 乳がんグループ 新規試験

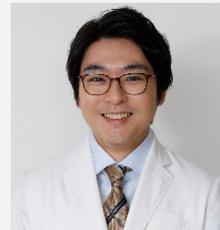
JCOG乳がんグループの新しい試験であるJCOG2313「ホルモン受容体陽性HER2陰性乳癌局所領域再発に対する根治的治療後アベマシクリブの有効性を評価するランダム化比較試験」が現在開始準備中であり、本研究の立案、プロトコル作成、承認に至るまで、JCOG乳がんグループの皆様、データセンター、運営事務局、審査委員含め関係の皆様には、多大なるご指導とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本試験は、ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がんの局所領域再発（過去に乳がんの治療を受けた部位の近くに腫瘍が発生した状態）に対してCDK4/6阻害薬であるアベマシクリブが有効かを評価する臨床試験となります。

局所領域再発とは、過去に乳がんの治療を受けた乳房内、その周囲のリンパ節、皮膚などに再び腫瘍が発生した状態であり、依然として予後不良な病態です。局所領域再発に対する標準治療は、手術で切り切れる場合には手術を行い、術後に放射線治療が行われることもあります。また手術で切除することが難しい病変に対しては、放射線治療や化学療法を組み合わせる治療を目指した治療が行われます。これらの治療によって目に見えるがんがほとんど消失した場合でも、がん細胞が目に見えないレベルで局所に残っていたり、すでに血液やリンパ液を通して全身に運ばれている場合、そのがん細胞が増殖して再発することがあります。これらの再発リスクを抑えるために、内分泌療法が行われます。内分泌療法には、アロマターゼ阻害薬（アナストロゾール、レトロゾールなど）や選択的エストロゲン受容体調整薬（タモキシフェン）、黄体形成ホルモン放出ホルモン作動薬（リュープロレリンまたはゴセレリン）が含まれます。



研究代表者
原文 堅



研究事務局
尾崎 由記範



研究事務局
徳田 恵美

この内分泌療法単独と比較し、内分泌療法＋「アベマシクリブ」併用療法がより有効かを評価するのが本試験です。アベマシクリブとは、CDK4/6阻害薬と呼ばれる分子標的薬であり、初発乳癌に対する術後内分泌療法と併用することで、予後が改善することが示されています。

本試験によって、ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん局所領域再発の予後を改善させる新たな治療戦略の確立を目指しています。試験の実施にあたり、参加ご施設の関係各位、患者様のご協力が必要不可欠となります。どうぞ引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JCOG2313 研究代表者 愛知県がんセンター 乳腺科 原文 堅
JCOG2313 研究事務局

がん研究会有明病院 乳腺センター 尾崎 由記範
福島県立医科大学 腫瘍内科 徳田 恵美

JCOG研究の論文公表

◇ リンパ腫グループ JCOG1105A1 李 政樹先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39853402/>

Lipidomic profiling of plasma from patients with multiple myeloma receiving bortezomib: an exploratory biomarker study of JCOG1105 (JCOG1105A1)

Cancer Chemotherapy and Pharmacology, 2025 Jan 24;95(1):29.

◇ 肝胆膵グループ JCOG1113S4 福土 耕先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39775866/>

Assessment of heterogeneity according to hospital or medical experience factors in outcomes of chemotherapy for advanced biliary tract cancer: a post-hoc analysis of JCOG1113

Japanese Journal of Clinical Oncology, 2025 Jan 8, Online ahead of print

ホルモン受容体陽性HER2陰性乳癌
局所領域再発(LRR)根治的治療後

ランダム割付

施設、内分泌療法、局所領域再発
局所領域再発に対する術前/術後化学療法

A群 標準治療群
内分泌療法

B群 試験治療群
内分泌療法＋アベマシクリブ

担当医別月間登録数



- ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:6)
渡辺俊一先生/国立がん研究センター中央病院
- ◇ 胃がんグループ(月間登録数:2)
大木 暁先生/がん研究会有明病院
李 基成先生/がん研究会有明病院
池谷七海先生/国立病院機構四国がんセンター
江原一尚先生/埼玉県立がんセンター
野村 尚先生/山形県立中央病院
山田貴允先生/神奈川県立がんセンター
西田正人先生/静岡県立総合病院
新野直樹先生/市立豊中病院
佐藤勉先生/横浜市立大学附属市民総合医療センター
佐藤渉先生/横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ◇ 食道がんグループ(月間登録数:2)
大幸宏幸先生/国立がん研究センター中央病院
長谷善明先生/神戸大学医学部
境井勇氣先生/浜松医科大学
小柳和夫先生/東海大学医学部
- ◇ 乳がんグループ(月間登録数:2)
能澤一樹先生/名古屋市立大学病院
- ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)
服部圭一朗先生/筑波大学医学医療系
- ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:3)
安達智洋先生/広島市立北部医療センター安佐市民病院
- ◇ 放射線グループ(月間登録数:2)
芦田 良先生/神戸市立医療センター中央市民病院
- ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:2)
杉町圭史先生/国立病院機構九州がんセンター
瀬尾 智先生/高知大学医学部附属病院
- ◇ 消化器内視鏡グループ(月間登録数:3)
門田智裕先生/国立がん研究センター東病院
- ◇ 頭頸部がんグループ(月間登録数:2)
小山泰司先生/神戸大学医学部

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

国立がん研究センター FUTUREプロジェクト



「満たされない患者ニーズを解決するための内科系研究プロジェクト」
皆さまからのあたたかいご支援が、多くの患者さんの「FUTURE(未来)」につながります。

https://www.ncc.go.jp/d004/donation/future_project/index.html

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	11月	12月	1月	合計
肺がん外科	80	68	71	219
胃がん	33	38	36	107
大腸がん	34	30	35	99
肝胆膵	24	21	24	69
リンパ腫	21	23	19	63
食道がん	16	20	21	57
消化器内視鏡	15	6	20	41
放射線治療	13	12	6	31
肺がん内科	13	11	5	29
脳腫瘍	10	5	7	22
泌尿器科腫瘍	9	5	4	18
頭頸部がん	6	4	3	13
骨軟部腫瘍	5	3	4	12
乳がん	1	4	1	6
皮膚腫瘍	0	0	0	0
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	280	250	256	786



JCOGデータセンターより

● 2025年1月の登録例は256例でした

今月も登録中の試験のある全てのグループから登録をいただきました。診療でお忙しいところ、ありがとうございます。引き続き、積極的なご登録をお願いいたします。

